

船舶事故調査報告書

平成23年6月23日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行
 委員 根本 美 奈

事故種類	定置網損傷
発生日時	平成22年4月7日 02時10分ごろ
発生場所	長崎県新上五島町中通島小瀬良港東方沖 壺ヶ瀬灯標から真方位085° 2.7海里付近 （概位 北緯33° 04.7′ 東経129° 07.0′）
事故調査の経過	平成22年4月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 順航丸、4.77トン NS3-53959（漁船登録番号）、個人所有 10.90m（Lr）×2.35m×0.85m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和49年2月25日
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 68歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成15年8月15日 免許証交付日 平成15年8月18日 （平成20年8月17日をもって失効）
死傷者等	なし
損傷	本船 大破して全損 定置網 網1m破断、綱3本切断等
事故の経過	本船は、操縦者が1人で乗り組み、中通島津和崎鼻沖で操業中、海上が時化模様となったことから、中通島立串漁港に避難することとし、同島北部の東岸沖を航行中、平成22年4月7日02時10分ごろ小瀬良港東方沖の定置網に乗り揚げ、同網のロープにプロペラが絡まり航行不能となった。 操縦者は、僚船に救援を依頼し、僚船から海上保安部及び所属漁業協同組合に通報され、定置網作業船に救助された。 本船は、荒天のために定置網から引き出すことができず、その後、大波を受け、中通島北部の東岸に流され、岩場に当たって大破した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 5 海象：波高 約3.0m 本事故当時、長崎県全域には強風注意報、上五島、平戸・松浦地区等には波浪注意報が発表されていた。
その他の事項	定置網は、小瀬良港東端付近から東方約700mまでの間に設置され、同網の南側には、灯色白色、毎4秒に1閃光、光達距離1.5kmの簡易標

	<p>識灯が設置されていた。 操縦者は、何度も立串漁港に入港した経験があった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>本船は、強風注意報及び波浪注意報が発表された状況下、時化模様となったことから立串漁港に避難するために中通島北部の東岸沖を南進中、小瀬良港東方沖の定置網に乗り揚げたものと考えられるが、操縦者から情報が十分に得られなかったため、乗揚げに至る状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、中通島北部の東岸沖を南進中、小瀬良港東方沖の定置網に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	